

# 医療分野、半導体製造装置関連で売り上げの5割

## 一次加工で精度が出ない場合や複雑加工への対応が得意

二次加工専門に取り組み中原精密(静岡市駿河区) ユキワ精工ツリーングユーザー訪問 岩崎社長に聞く



岩崎社長(右)と鈴木オペレーター

### スーパーG1チャック導入で トライしていた 「嵌め合い公差P6」 を難なくクリア

グとの出会いは、リーマ加工で「嵌め合い公差P6」のトライを展開していた2020年ごろ。月産何万個という単位で受注していたが、他社ツリーングではこの精度が出せず、取引商社に相談したのがきっかけだった。

「スーパーG1チャックは、従来のツリーングと全然、違う」とはオペレーターの鈴木さんの第二声で「求められる精度が難なく出せた」と言う。

「チップ加工ではM12が多いが、チップの折れもなくなった。ツリーングを変えたただけの可能性がある世界もあることを実感した」とその効用の魅力を称える。現在、スーパーG1

「マシンクセセタは、ステンレスで9割を占める。振れはミクロを切るを目標に設定しており「±0.00分の1の公差は、難なく対応できる」と言う。

「ユキワ精工のツリーングは、M2が多いが、チップの折れもなくなった。ツリーングを変えたただけの可能性がある世界もあることを実感した」とその効用の魅力を称える。現在、スーパーG1

「メインのチタン加工では工具寿命が2倍以上に  
変えるだけで可能になる世界がある」

「チップの折れもなくなった。ツリーングを

二次加工専門に取り組んで30年以上になるという中原精密を訪問した。

1989年(平成元年)に入社した岩崎社長は「おおよそ50年前に腕時計の二次加工で創業した。二次加工で精度が出ない場合や複雑加工への対応が得意で、システムとして二次加工ができる会社との認識を持って頂ければありがたい。現在は、医療分野にシフトしつつあり売り上げの3割くらいでチップマウンター関連の半導体製造装置関連で2割とこの両分野で半分を占める」と語る。

加工ワークは「握って隠れるくらい大きさ」が中心で切削加工分野は月産5000個以上。φ5ミリ以下のドリル、エンドミル、リーマの加工ほかM3クラスのタップ加工で差別化している。



既存のツリーングと全然、違うと絶賛する鈴木オペレーター



女性スタッフの姿が目立つ

高精度ツリーングシステム  
スーパーG1チャック



精度をとことん  
突き詰めると、  
コレット式に辿り着く



ユキワだけ精度を  
保証！  
しています。



ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック 検索  
<http://www.yukiwa.co.jp/>



本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112  
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.